

‘66
関東大学
秋季リーグ戦
バドミントン

会場 神田体育館

(旧名 国民体育館)

主催 関東学生バドミントン連盟

後援 日刊スポーツ新聞社

2. 法政大学

部長	泰本 氏	融 学 部	年	出身 校	番号	氏 名	学 部	年	出 身 校
監督	竹 田 重吉	日大山形高	10	池 田 信	10	池 田 信	富山商	2	富山商
主務	木 石 健正	富山商高	11	田 藤 和慶	11	田 藤 和慶	新潟商	2	新潟商
3	白 三 人	奈良商工高	12	後 川 雄治	12	後 川 雄治	日大山形高	2	日大山形高
4	喬 忠	"	13	川 生 雄一	13	川 生 雄一	松江商	2	松江商
5	敏 武	津 新北里	14	沼 津 光昌	14	沼 津 光昌	作新学院	1	作新学院
6	春 安	鶴 商院	15	高 沢 雅昌	15	高 沢 雅昌	富山越商	1	富山越商
7	芳 夫	堺 北里	16	高 沢 光昌	16	高 沢 光昌	北高	1	北高
8		崇 良高	17	兒 大 田 廉	17	兒 大 田 廉	高	2	高
9		工高	18	山 健 二	18	山 健 二	桐生商	2	桐生商

部の横顔

ダブルスヒ云えは法政。法政と云えばダブルス。既に御存知のことでしょう。

昭和23年立、明、慶に統いて創立されました。

過去の成績を見ると、昭和3・2年まで4位の成績に甘んじていました。だから法政は「万年四位」だという人も以前には居りました。しかし、その後徐々に力をつけ、遂に昭和5年春秋リーグ戦に優勝し、これを契機に翌々年の昭和3・7年の第1・2回インカレ団体戦に初優勝し、個人戦複でも森・沢田組が優勝しました。森・沢田組は、この年と翌年の全日本総合にも優勝し、文字通りダブルス日本一になりました。

そして、39年には春季リーグ戦、第15回インカレ団体戦は言うに及ばず個人戦複にも本田・鈴木組が優勝し、全くのすばらしい成績を収めました。前年のインカレでも伊村・中村組が優勝しています。この様にダブルスにはいい成績を収めています。でもバドミントンはダブルスだけではありません。そこで、現在はシングルスにも非常に重点を於いた練習を行っています。その成績は今度のリーグ戦で発揮されるでしょう。

ある人が云っていたことですが、法政は皆んな紳士ですね。と、ところがある人は似た者同志と云った人も居ました。まあ、意見は色々でしょうが、何はともあれ全員スポーツマン。ハンドミントンが大好きな者はばかりです。今度の試合振りを見て下さい。

主将抱負 鈴木 健二 4年石
今年は夏の合宿を行なうという方法を試みました。これによつて、選手の長所がより伸びたともと確信しています。

選手紹介

鈴木 健二 4年石
スクールの大きいプレーヤーである。体が大きい所為かコートが小さく感じる。長身を利用してのスマッシュはスピードあり、力強さを感じる。

鈴木 健二 3年右
中村と組んだダブルスは、安定した力を持っており定評がある。ウェスタンクリックア味など特にシングルスにおいて効果的に力を発揮するだろう。試合でのかけ引きはうまい。

森 芳夫 2年右
マレーシアから帰つて来て、より充実した感が第一个人者であろう。最近は負けている気がしないと云っているから、今リーグ戦ではすばらしいプレーを開拓するだろう。

池 田 信 孝 2年右
部内で一番の人気者である。森と組んでいるダブルスは、マレーシアでも優勝しており、全くようしている。小柄ではあるが、全身をバネのある試合ぶりは好感が持てる。

梅野尾 昌一 1年右
試合の場を踏むごとに目覚ましい成長を見せている。シングルスは全体的に柔らかい感じのプレーをするが、フトワークは奇麗だ。

3. 立教大学

部長	官本馨太郎	学年	出身校	番号	氏名	学年	出身校
番号	井永栄一	法4	新潟立聖学院	10	丸保幸	2	城北高等学校
監督	永野義一	法4	新潟立聖学院	11	星矩	1	岐阜工業高等専門学校
主将	伊須田孝一	法4	新潟立聖学院	12	堀前寺	1	富山高等専門学校
主務	永裏田和光	法4	新潟立聖学院	13	森	1	立教大学
3	義男夫	法4	新潟立聖学院	14	新潟立聖学院	1	立教大学
4	巳三昭	法3	新潟立聖学院	15	宮北高	1	立教大学
5	勝芳政	法3	新潟立聖学院	16	高	1	立教大学
6		法3	新潟立聖学院	17	高	1	立教大学
7		法3	新潟立聖学院	18	高	1	立教大学
8		法2	新潟立聖学院	19	高	1	立教大学
9		法2	新潟立聖学院	20	高	1	立教大学

部の横顔
4、5年前迄の立教は、正に栄光の進撃を続けていた。が最近2、3年間は2、3位に甘んじて居る。部員は、重厚な伝統を背負わざして窒息感味になつたかも知れない。又部員の少ない事はそれを煽った事だろう。しかし現在部員は、勝負観的ハッタリや灰汁の強さ等皆目ないスマートなプレー振りである。元々立教大学はミッショ系の学校なので、こんな所に校風が表れてゐる様である。

主将抱負 星野義昭

この秋季リーグ戦はついに我々4年生の最後のリーグ戦となる証だ。今季のリーグ戦は何とか中央、法政に一矢を報くべし。3年生始め、下級生が良く自覚して練習をやっているので、その成績が必ず出ると信じている。とにかく思い出多きリーグ戦を素晴らしいものにして、3年生にバトンを渡したい。

選手紹介 須田孝夫 4年右

百戦錬磨の賞録とマイペースで行く選手。
特技 延びのあるクリアードとドロップショット

裏田光男 3年右
主軸としての風格と技量が備わったが、ハイセンスのプレーは逸品である。

特技 アーチメント

星野義夫 3年右
部内隨一のスマニナを誇る好ダブルスプレーヤー。
最近特に小技を気かず様になった。

特技 ネットプレー

星野義夫 3年右
世界を興奮させる実力もこの種の合戦の醍醐味である。これまでの経験から得たもので、それを活かして、常に勝利をめざす。

（次回は、星野義夫によるアーチメントについて）

立野政昭 2年右
プレーに粘り、力強さ、安定さが増し、一皮脱した。

特技 カッティングスマッシュ

池上芳三 2年右
素質に本人のやる気を加えて最近の進歩には脚足を思わせる。

特技 鏡角的なスマッシュとカット

春季玉汗

香雪主

春季玉汗

香雪主

春季玉汗

香雪主

春季玉汗

香雪主

春季玉汗

4. 早稲田大学

部長	岩片秀雄	学年	出身校	番号	氏名	学年	出身校
番号	岩片秀雄	名	学部	年	出身校	年	出身校
監督	菊池利明	明	経4	10	鬼宗茂	3	仙台
主将	折井聰一	聰	経4	11	森茂樹	3	湯島
主務	祐一尚幸	尚幸	新熊	12	正徳	3	園
3	4	4	4	13	西村修	3	岡
4	5	4	4	14	木村修	3	新
5	6	3	育3	15	佐藤清	3	高福
6	7	3	育3	16	志雄	2	聖
7	8	3	育3	17	敏伸	2	学院
8	9	3	育3	18	育繁	2	本台
					杜	1	鴻商

部の横顔

汗したたる夏期合宿を終え、主将以下一団となつて秋季リーグ戦に備えて精進を続けているが、その隙空を見ると、今季を最後と張り切る4年生の折井、安沢、南林の三人は勿論、特に櫛本(大)を中心とする3年生の充実は目覚ましく、その層の厚さもって、部結成以来初の上位進出が期待されている。

主将抱負 折井 真

春季リーグ戦の苦い経験を肝に命じて、私にとって学生時代最後のリーグ戦をどうにかして精神的に完実したく、部員一同練習に励んでまいりました。常に前進を目指し、どんなにわざかも良い、歩を進めるのみです。

選手紹介 折井 真

4年右折れ味の良いカットと強力なスマッシュを身上とするプレーヤーである。そのねばりと根性はチームの主柱となっている。

安沢 尚

4年右見る者を引き込むような見事なフットワークとストロークの良さは球の扱いの良さと相俟つて全く事の出来ない戦力となっている。

南林佑幸

4年右その頭脳的なプレーは、腕力をおきない、コースの良さには定評のあるユニークなプレーヤーである。

関一誠

3年右足を良く使ったねばりとコントロールの良さで、文字通り早大の看板プレーヤーとなっている勝負根性の良さは抜群である。

櫛本 太郎 3年右
相手に食い込める様なスマッシュとタイミング良いカットは、勝負度胸の良さと共にこの選手独創のものである。

櫛本 剛 司

3年右
下半身の安定した好守備で安心して見ていられるプレーヤーの1人である。球の配分の良さは見事である。

櫛本 剛 治

3年
櫛本(剛)と共に早稲田躍進のカギを握る1人、豪快なプレーと長身を利用したスマッシュは、相手を十分に悩ますであろう。

木争 雄 譲
3年右
足をよく使ったねばりとコントロールの良さで、文字通り早大の看板プレーヤーとなっている勝負根性の良さは抜群である。

6. 明治大学

部長	小牧正道	学部	年	出身校	番号	氏名	学部	年	出身校
監督	内藤安雄	経営	4	富士高	10	越前屋直行	商	1	函館西高
主将	斎藤正昌	経営	4	士谷高	11	高橋和雄	商	1	新庄北高
主務	内井孝昌	経営	4	高田東	12	三井清嗣	文	1	諏訪清陵高
3	宮司昌司	経営	4	高蔵	13				
4	大角俊	農業	4	札幌第一高	14				
5	山本義清	農業	4	高商農	15				
6	藤原義雄	農業	4	高農	16				
7	猪工俊	農業	3	高農	17				
8	佐藤正俊	農業	2	高農	18				

部の横顔

明治大学バスミントン部も昨シーズン、リーグ戦始まって以来始めて最下位という不名誉な成績を残してしまった。元来、当部には傑出した選手は少なく、団結したチーム・ワークでリーグ戦を乗り切ってきた。

ダブルスを得意とし、過去においてもダブルスが試合を左右したことが度々ある。近年主力選手層が薄く、練習相手の不足、又この為良い意味の競争心に欠け、十分に素質をのぼせないことは非常に残念である。ひとところ調子に乗ると向かう所敵なしの感があったが、当分この伝統を受け継いで機を待つほかはないだろう。2、3年先を見ていきたいと思う。

主将抱負 斎藤正勝

春の二の舞を踏まない様まず最下位脱出目標に、日大、早稲田を食う意気込で頑張りたいと思います。幸い、1年生もチームに完全にとけこみ、全員好調なので免に角体当たり戦い抜いて行こうと思って居ります。

選手紹介 藤正勝

プレーに一段と円熟味を増し、安定した実力はチームのリードオーフマンとなっている。スマッシュにも一層力強さが出、守備範囲の広いレシーブは定評がある。

猪原清道 3年右
元来ダブルスを得意とし、貴重な貢献をしているが、最近シングルにも自信をもっている。今合宿、体力も十分ついているのでそのテクニックを大いに發揮してくれるであろう。

工藤喜久雄 3年右
シングル、ダブルをとわず、卒なくこなすオーディックなプレーヤー。最近、機を見てはなつスマッシュにスピードが加わり、攻撃に積極

性がでた。猪原とともに活躍するだろう。

佐藤正俊 2年右
春の好調以来技術的にも精神的にも一段と安定してきた。バックハンドを自分のものとし、プレーに幅ができてきた。
今季もリーグ戦男として大いに働いてくれるであろう。

高橋和雄 1年右
合宿後進境が著しい。非常に器用な選手でネットなどに新入はなれしたプレーをする。

越前尾直行 1年右
専前のファイトと旺盛なスマッシュはチーム随一。最近荒さがとれ、プレーに変化が出てきた。高橋とともに将来大いに期待できる選手である。

男 子 二 部

月	日	曜日	会 場	A コート	B コート	C コート
10	13	木	神田体育館	関学大一青学大	慶大一東大	日体大一明大
14	"	金	"	関学大一明学大	慶大一青学大	日体大一東大
19	木	"	関学大一東大	慶大一日体大	青学大一明学大	青学大一東大
21	金	"	関学大一東大	慶大一日体大	青学大一明学大	青学大一明学大
24	日	"	関学大一慶大	慶大一日体大	東大一明学大	東大一明学大

予想

春秋の連続優勝をねらう関東学院がダブルスも充実し、シングルスでも渡辺、落合等が相変わらず堅実なプレーで元気なので、優勝候補の筆頭に上げられるだろう。それを追うのは伊丹主将の下に一部復帰を含言葉に猛練習を積んで居る慶応大学。

久方振りにAクラス突入をはたした日本大学も一発をねらい元気なので上位チームといえども注意を要する。それに、春に不覚を取った青学も、新人の浅野等が夏季合宿以来調子を上げているので、新人の活躍によっては優勝候補の一角に食い込んで面白い試合を見てくれるだろう。

東大は、これといったポイントゲッターが居ないので、苦しい試合の連続になる事は必至である。春の入替戦で勝利をおさめ、二部昇格をはたした明治学院も二部に明学セン風をと張切つて居るので、どの試合も白熱した好試合が予想される。それにしても、会場の関係で日程が長期にわたるのでその間の選手個々のコンディショニングの調整が勝敗を大きく左右するだろう。

1. 関東学院大学

部長	井 湊	東 学 部 年 出 身 校	部長	井 湊	良 学 部 年 出 身 校
番号	氏	藤波直忠	番号	氏	吉田昭
監督	斎渡	民勝	監督	伊丹洋	名磨
主務	渡	幸男	主務	瓜生	義光
3	3	浩人	3	3	格
4	2	幸男	4	4	義光
5	3	茂美	5	3	光善
6	3	登久之	6	3	忠健
7	3	尊吉	7	4	俊後
8	2	吉治	8	4	俊後
9	1	二	9	2	英司
10	1	二	10	2	洋次
11	1	松成	11	1	勉雄
12	1	松成	12	1	司晃
13	1	松成	13	1	生夫
14	1	赤寺	14	1	三英
15	1	赤寺	15	1	克
16	1	島	16	1	次信慶
17	1	島	17	1	佐々木
18	1	島	18	1	本平

2. 慶應義塾大学

部長	平 良	学 部 年 出 身 校	部長	平 良	学 部 年 出 身 校
番号	氏	吉田昭	番号	氏	吉田昭
監督	伊	丹生年	監督	伊	丹生年
主務	瓜	英司	主務	瓜	英司
3	4	洋次	4	4	洋次
4	5	勉雄	5	4	雄司
5	6	司晃	6	3	生夫
6	7	生夫	7	3	三英
7	8	次信慶	8	3	次信慶
8	9	佐々木	9	3	佐々木
9	10	牧井	10	3	牧井
10	11	井	11	3	英司
11	12	河渡	12	3	英司
12	13	西山	13	3	英司
13	14	佐佐木	14	3	英司
14	15	佐佐木	15	3	英司
15	16	佐佐木	16	3	英司
16	17	佐佐木	17	3	英司
17	18	佐佐木	18	3	英司

女子 四 部

月 日	曜日	時間	会 場	A コ — ト	B コ — ト	C コ — ト
10 13	木	A・M P.M 10:00 1:00	高円寺体育館	関学短大—成蹊大	慶 大—東京理大	学習院大—山梨大
14	金	A・M P.M 10:00 1:00	"	関学短大—横国大	慶 大—成蹊大	学習院大—東京理大
				関学短大—山梨大	慶 大—成蹊大	学習院大—横国大
				関学短大—山梨大	慶 大—山梨大	東京理大—横国大
17	月	A・M P.M 10:00 1:00	"	関学短大—慶大	慶 大—横国大	成蹊大—山梨大
18		"		学習院大—成蹊大	東京理大—山梨大	山梨大—横国大

予 想

3部より、関東学院短期大学を迎へ、横浜国立大学(再加盟)も加わり、春季にもましていっそう激しい試合が展開されると思われる。まず、優勝候補として上げられるのは関東学院短期大学、慶應大学、学習院大学である。関東学院短期大学は、3部の実力を発揮し、それに対し、フットワークの良い慶應大学、春季3位に甘んじた学習院大学がどこまで伸びてゐるか注目すべき点である。一方春季初出場で4位にくいこんだ成蹊大学が、どこまで伸びてゐるか楽しみである。又東京理科大学は、下級生の奮起により、いつそそのファイトをもって、試合にのぞむではないだろうか、春季堅実な試合を行なっていた、山梨大学もどれ位力がついているか楽しみである。再加盟の横浜國立大学も加え、上位の優勝争いと、その他の順位争いに、どの様な結果が出来るか、見物である。

1. 関東学院女子短期大学

部長	渕井 東	学 部	年 出	身 校	番号	監督	主務
		名 順子	家	政2 常磐木学園	1	氏塚 野口	主務
		和静子	家	横須賀学院	2	吉田 丹生	主務
		千恵子	家	"	3	島味 崇	主務
		裕子	英	文2 緑ヶ丘学院	4	北川 雅	主務
		さゆ子	英	文政1 捜真女学院	5	川嶋 崇	主務
		まゆみ	英	仁里高商	6	集田 岩	主務
		まゆ子	英	文1 横浜女子高	7	五十嵐 優	主務
		まゆ子	英	"	8	桂優子	主務
		まゆ子	英	"	9	"	主務
		まゆ子	英	"	10	豊多摩	主務
		まゆ子	英	"	11	東京女子学園	主務
		まゆ子	英	"	12	桜藻学園	主務
		まゆ子	英	"	13	"	主務
		まゆ子	英	"	14	"	主務
		まゆ子	英	"	15	"	主務
		まゆ子	英	"	16	"	主務
		まゆ子	英	"	17	"	主務
		まゆ子	英	"	18	"	主務

2. 慶 应 義 塾 大 学

部長	平 良	学 部	年 出	身 校	番号	監督	主務
		名 磨 昭人	格 文	経 文	1	吉田 伊丹	主務
		義人	文	商 文	2	島生 美穂	主務
		綾子	文	向 女	3	北川 咲	主務
		幸子	文	慶義女	4	五川 雅	主務
		恵美	文	大	5	川嶋 崇	主務
		悦子	文	陽 女	6	加富 雅	主務
		悦子	文	慶義女	7	五十嵐 優	主務
		悦子	文	大	8	桂優子	主務
		悦子	文	横浜大	9	豊多摩	主務
		悦子	文	大	10	東京女子学園	主務
		悦子	文	高	11	桜藻学園	主務
		悦子	文	高	12	"	主務
		悦子	文	高	13	"	主務
		悦子	文	高	14	"	主務
		悦子	文	高	15	"	主務
		悦子	文	高	16	"	主務
		悦子	文	高	17	"	主務
		悦子	文	高	18	"	主務